

子ども園での運動会（年長さんのプログラム）を参観させていただいた。来春には、この中の 2/3 の子どもたちが本校に入学してくれる。おどり・リレー・親子競技、3つの種目を立て続けにこなす▼種目と種目の間にロスがない。次の準備もテキパキ。先生方の動きも必要最低限。5歳の子ども集団は、こんなにも素晴らしいのかと今更ながら感動した▼ここまで鍛え上げた先生方の支援にはリスペクトしかない。子どもたちのがんばりは、褒めても褒めたりない▼園長先生が挨拶の中に「今日の運動会だけでなく、これまでいろいろなところでたくさんがんばってきました。来年は小学校に入学します。・・・」という言葉があった。プロセスを大切にすることは同じ。子どもたちを主役にしよう、挑戦させようという意識も同じ▼5歳児は子ども園では、最高学年にあたる。小さいが立派なリーダーなのだ。さまざまなプロセスを経て、未完ながらも完結した5歳児を、われわれ小学校は、そのプロセスと成果とに目を向け、現在地を確かめ、小学校教育を積み上げる必要がある。▼いなべ市では「かけはしプログラム」という園と小学校を結ぶ取り組みが始まった。子どもにつけたい力は、「人間性」と「学力」。吊り橋は不安定かな？ラーメン橋よりは、けた橋かな。橋の種類も重要。渡すものは、決まっている。教育にかける「夢と可能性」これでよい。